

おずっちょも、  
あんしん♪

モトスミ・オズ通り商店街の

安全ぶっく



- モトスミ・オズ通り商店街 -

3.11の商店街

3.11とこれからの商店街

商店の挑戦

商店街の挑戦

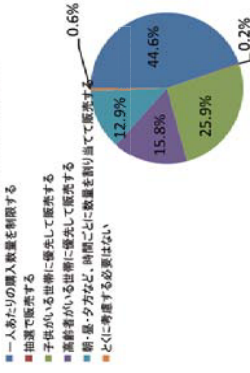
安心安全まっぷ

# 「3.11」の商店街

2011年3月11日に起きた東日本大震災。あの時、オズ通り商店街では、私たちのまちでは、どんなことが起きていたのでしょうか。今一度、振り返ってみましょう。

※このページはオズ通り商店街商店舗へのインタビューと2011年10月2日のオズフェスタで行ったアンケート(288人)を基に作成しています。

## 災害時の販売方法に対する要望



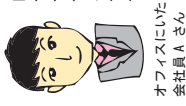
14:53 東日本大震災発生 18:00頃 停電発生により、信号機停止→細島街道で大渋滞、JR、東横線運行停止 20:00頃 関東近郊病院周辺など一部の地域で電気が復旧 22:00頃 オズ通り商店街付近全域で電気が復旧 24:00頃 東急東横線復旧



2011年3月11日

- 震災当日に必要なもの
- N0.1 正確な情報
- N0.2 水
- N0.3 食料
- N0.4 電池
- N0.5 懐中電灯

Q 近隣の方々に聞きました。「震災当日はどうやって過ごしていましたか？」



オフィスにいた会社員Aさん

「地震発生時は一人に家にいました。そのあと急いで娘を幼稚園に迎えにいきました。妻に水とパンを買って帰らせてもらいましたが、どのお店も売り切れで買えませんでした。途中で、営業はしていないもののトイレを買ってくれていたお店があり助かりました。帰ったらマンションのエレベーターが止まっていたので、6階まで階段で上がりました」



3歳の子供を持つ主婦Bさん

「阪神淡路大震災を経験していたので、非常時グッズとして軍手・ラップ(どんな容器でもお皿になる)、カイロ・水はあらかじめ買ってありました。また、上から物が落ちる心配のない「家の中の避難所」を作っていたので、そこでTwitterやブログを使って情報収集をしました」



阪神大震災を経験したことのある会社員Cさん

「震災後、私たちの生活の中でどんな変化が起こったのでしょうか？」 今回の震災は、放射能汚染の問題をも引き起こし、人々の商品への安全性に対する関心を高めました。次のグラフはそうした中、実際の買い物で産地を気にするの、また何を基準に安全性を判断するの、について調査した結果です。

## 商品の安全性の判断基準 商品の安全性について産地への懸念



震災後オズ通り商店街とのつながりを重要と感じるようになりましたか？



「はい」と答えた人は全体の159人(57%)を占め、半数以上の方が、震災後に地域の商店街とのつながりを重要と感じていることが分かる。福島の原発事故がニュースなどで多く取り上げられる中、60%の回答者は購買行動に特に大きな変化がないようだった。しかし、購買行動が変化したという回答者も40%を占めている。

3月14日~4月8日 計画停電 7月1日~9月9日 10月2日

電力使用制限令※1  
電機石巻「希望の缶詰」※2 販売  
商店街と地震に関するアンケート実施

- 震災一週間後に必要となったもの
- N0.1 食料
- N0.2 水
- N0.3 正確な情報
- N0.4 電池
- N0.5 トイレレットペーパー



居酒屋「鳥作 元住吉店」さん  
商店街インタビューPart2

Q 震災、そして計画停電等でお店にはどのような影響がありましたか？  
「計画停電は2、3回ありましたが、停電中はお客様が持ってきてくださった大きなローソクをテーパーなどに置くことで営業は続けることができました。地震の日以降に予定されていた団体での予約はほとんどキャンセルとなってしまいました。震災後数週間は「自粛ムード」から、夜でも、お酒は飲まれずに早めにお帰りになられたお客様がほとんどで、3、4月は売り上げがかなり落ち込みました」



商店街インタビューPart3  
メガネ店「メガネの美光」さん

Q 震災後、なにかお店に変わったことはありましたか？  
「電池をお買い求めのお客様が多少はございましたが、すぐに売りに切れてしまいました。それを受けて電池のいらならぬ手動充電式ライトをメーカーから取り寄せ、販売したところ、多数お買い求めいただきました」  
(このお店の今後の取り組みについては⇒P6-7)

※：石巻にて津波に襲われたのにもかかわらず積極的に販売していた毎屋。  
※：東京電力、東北電力管内にある大規模工場など大口電力需要家に対して昨年比15%の節電を義務付ける命令

Q 1. 震災後、ご自身の今までの考え方や行動に変化がありましたか。

あった (55)  
ない (12)

「あった」方に、具体的な内容を教えてください。

- 1位：備蓄 (17)  
・食料  
・子ども用品  
・お風呂の水を貯める など
- 2位：節電・節約 (12)  
・電氣や水の節約  
・あまり買わないようにして、小さい生活をするようになった など
- 3位：非常時用品 (11)  
・懐中電灯  
・乾電池  
・非常食 など

- その他：  
・家族との確実な連絡方法を決めた  
・子どもと避難場所を確認した  
・子どもの習いごとの送り迎えをするようになった  
・ケータイを常に充電するようになった  
・寄付をするようになった  
・家族の大切さを感じた  
・人生のあり方を考えるようになった など

「地域のみなさんは  
こう思います！」

写真左から、  
山崎友香さん、  
浦川弘美さん、  
小山佳恵さん、  
但野文子さん



3.11 とこれからの商店街

「子育て中のママはこう思います！」

今日は、オズ通り商店街の近くに住む子育て中のママ4人に算まっていたけど、3月11日の東日本大震災当日の振り返りやその後の日常生活の変化、商店街との関わりなどについて語り合っていました。

震災当日のようすについて教えてください。  
・停電が照明が消えてしまい、子どものおむつ替えが困りました。お隣の親子を誘って避難場所の近所の小学校に行ったら、ローソク2本を持って家に帰されてしまいました。いつ避難すればいいのか、いつまで家にいなければならないか、わからなくなっていました。  
・その日昼々られるおかずがほしくて商店街に行きましたが、大行列でした。男の子たちがタブレット端末で耳塞料にいました。開けてください、それが「収穫した情報を周りに伝えてくれました。それが「情報」ながっている感じ」でよかったと思います。「情報」と「人じゃやない感じ」が必要だと思います。(浦川)

震災当日、商店街にあったらよかった対応はありますか。  
・目が曇ってきて電池が心配になって、商店街に行ったら、お店が全部閉まっています。開けてください、と外から頼んでいる人もいました。商店街に行ったら、その時の不安を解消したい気持ちがありました。(小山)

・パイプ椅子とラジオだけでも出してもえたらよかったと思います。話をすることで安心します。(山崎)

避難場所だけでなく、住民がコミュニケーションをとれる場所があるといいですね。(小山)

ご家庭に防災グッズや水などの備えはあったのでしょうか？  
・阪神大震災を経験していたので、5年保存できる乾パンをケース買っていました。(浦川)

・赤ちゃんのおむつを切らして困っていたママ友に、持っていたおむつを分けてあげました。感謝しています。  
・夜寝なくて困っていました。(山崎)

・寝置のカタログに防災グッズの案内があったので購入していました。商店街だけの買い物だと気づかなくて困りました。(小山)

防災訓練には参加されていましたが、参加者の9割が高齢者で、参加しにくい雰囲気でした。(浦川)

・「地震車と消防車に乗れるよ」と宣伝すれば、子育て世代は来りかも。(但野)

・子どもが迷惑かけてしまうかもしれないと思うしもうので、防災訓練に「ベビーカー大歓迎」とあると行ってよかったのかな、と思います。(山崎)

オズ通り商店街では、防災を視点にした取り組みを考えています。  
・考えてくれるだけで周りの住民は安心するのではないのでしょうか。地震後、お店から日本はどこも地震があるしね、と声をかけてもらっただけで安心しました。(山崎)

・以前、商店街に迷子の子がいて、一緒に母親を探していたら、お店の人がいつも来ているお母さんの子だから預かる、と言っていました。

「3.11 とこれからの商店街」

2011.3.11の東日本大震災以後、私たち元住吉の暮らしはだいぶ変化したのでしようか。  
3.11以後の生活を振り返り、地域の商店街ができること、その可能性について考えます。  
若い世代の流入が多い元住吉、子育て中のママさんたちに震災と商店街について語り合っていたきました。  
また、2011年秋のオズフェスタにおける街頭アンケートから、地元商店街への期待と役割について探ります。

- 1位：商品の確保 (15)  
・品薄が困る  
・買いだめをする人の対策を  
・食料品を多く買ってほしい  
・子どもに必要なものを買いいたい  
・防災用品を買ってほしい など
- 2位：災害対策 (6)  
・商店街独自の対策があるといい  
・災害時にトイレが利用できる  
・水や食料の配布がある  
・とよい など
- 3位：災害時の営業 (5)  
・災害時その時々にあわせて営業してくれど安心します  
・輪番で営業体制をつくってほしい など
- 3位：情報発信 (5)  
・災害時に商店街にあれば情報が聞けるとうい  
・災害時にどの店に何が売っているかわかるように発信してほしい など
- 東日本大震災を受けて、オズ通り商店街やお店に望むことがあったら教えてください。  
そのほか  
・震災後、商店街が暗くて夜間通るのに困った  
・商店街に自家発電機があるとうい など



らーめん寿限無  
店主 内田和美さん

元住吉駅に一番近いラーメン店『寿限無』では、3.11以降お米の買い付け量を増やし、万が一の事態に備えています。

「あのとき、とにかく食べ物をと思ったんですよ。うちはプロパンガスだから、ガスが止まっても調理はできる。ただ、電気が止まると換気扇が動かなくなるので、フル稼働することは難しい。とにかく温かいごはんがあれば、何かしらできると思いました」

「万が一の事態に備えて、お米の買い付け量を少し増やして、いつでも多めに炊けるように備蓄しています。また入れ物も必要なので、とりあえず500個、お弁当の簡易容器を買い付けました。すぐに出せるところにしまっておりです」

店長がいなくても地震が起こったとしても、自分たちの判断で臨機応変に対応できるようにと、スタッフにも申し送りがあるそうです。

「うちの店だけでできることは、そうたくさんありませんが、商店街全体でカバーし合えば、万が一の時にお客様のお役に立てることがいろいろあると思います。他にも何かいいアイデアがないか、考えて試していきたいですね」



# 「商店の挑戦」



メガネの美光  
店主 菅野俊光さん

メガネや補聴器、時計のお店『メガネの美光』では、手回し式の懐中電灯の販売を開始しました。

「あのとき、乾電池があとで売り切れてしまいましたよね。手回し式の懐中電灯があれば、もっとお客様のお役に立つのでは、と思ひまして、さっそく手頃なものを探して店頭に出しました」

「小さいので、バッグに入れておいても邪魔にならない。家に置いておく分と持ち歩く分、各部屋に置く分、といったように、複数買い求めになる方もいらっしゃいました。また『友達に見せたら、私も欲しいから買ってきてと頼まれた』と、再びご来店いただく方も。こんなに喜ばれて、かえってこちらが驚くくらいです」

なお、売上げの一部は新聞社を通じて義援金として寄付しているそうです。

「被災地のために何かしたい、でも個人ではなかなか...という方が大勢いらっしゃるようです。でも、自分が懐中電灯を買って今後に備えることが、同時に少しでも被災地のためになるというのが嬉しいとか。今後とも、何かこういった形でお役に立てればと思います」



喫茶室いーはとーぶ  
店主 安生麻彦さん

元住吉駅前の喫茶店『いーはとーぶ』では、3.11当日帰宅難民となったお客様のために、急遽一晩、緊急避難所のようにしていました。

「いったんは店を閉めたのですが、外は外で状況がわからず困っている方がたくさんいて。とにかく居場所のない方のために、再度店を開け、中でお待ちになるように勧めました」

店内に収容。また、トイレは店のお客以外の方にも貸すことになりました。「いつかは11時頃店を閉めますが、あの日は1時過ぎまで人がいましたね。女房に連絡して、家から毛布などを持ってきてさせて、夜に備えました」

「もし今後、同じようなことが起こったとしても、あの程度のことでしたら、店の被害の程度によりですが、お客様のお役に立てるなと思います。店の中は風がない分温かいし、とにかく座れば、だいぶ楽ですよ。一人でいると心細いけれど、知らない人同士でも店の中で一緒にいれば、少しは心強いかもれません」



万が一の事態に備えて用意した、炊き出し用の500個の弁当容器



# 「寿限無」

らーめん寿限無  
川崎市中原区木月2-4-1  
電話：044-433-225  
営業時間：10:00-13:00  
(日曜のみ11:00-22:00)  
定休日：無休

2011.3.11の東日本大震災以後、私たちモトストミ・オズ通り商店街の商店では、各商店が「できること」について考え、少しずつ実践に移しています。  
万が一の事態に商店がお客様にできることはあるのではないかと、各商店ができることは小さくても商店街みんなでカバーし合えば、地域の安全のために役立つのではないかと。3.11の日の経験を糧に、オズ通り商店街の商店が始めた取り組みについて紹介します。

## 商店の挑戦



新たに販売を始めた小型LED式懐中電灯



メガネの美光  
川崎市中原区木月2-18-1  
電話：044-433-3560  
営業時間：10:00-19:30  
定休日：水曜日

# 「メガネの美光」



多くの人が3.11の夜を過ごした「いーはとーぶ」のソファ

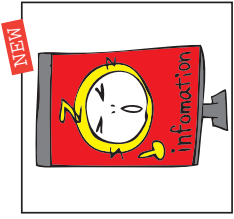


喫茶室いーはとーぶ  
川崎市中原区木月2-4-1  
電話：044-433-9451  
営業時間：6:40-23:00  
定休日：無休

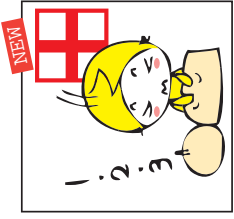
# 「いーはとーぶ」



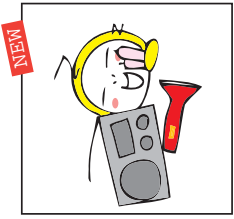
**NEW**  
6. 「一店一安心運動」の展開  
各商店ができる災害に備えた「安心・全安心」の取り組みを店頭・ポスター・掲示し、安全安心な店舗づくり・商店街づくりを進めます。「それぞれの商店でできることは、小さいながらもぜんぜん、商店街全体で取り組むことで地域のみなさまに安全に買物をしていただきたい」とモトミ・オズ通り商店街振興組柳沢理事長は話します  
今後、参加協力店を増やし、地域と連携した安全の取り組みも行っていく予定です。  
☞協力店は、p.10-11 mapへ



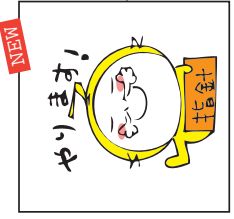
**NEW**  
3. 災害時の情報発信  
災害時においても商店街や地域情報をツイッターやデジタルサイネージ（電子掲示板）等を活用して発信に努めます。  
☞デジタルサイネージの設置場所は、p.10-11 mapへ



**NEW**  
2. 「市民救命士」のいるお店の普及  
市民救命士講習を受講し、万が一の災害時に備えます。



**NEW**  
1. 店舗にラジコ・懐中電灯・ろうそくを設置  
方が一停電になった時に備えて、店舗にラジコ・懐中電灯・ろうそくを常備します。  
☞協力店は、p.10-11 mapへ



**NEW**  
5. 「商店街行動指針」の作成  
突然の震災に備えて、店舗が取るべき行動をまとめた指針を作成、掲示します。  
☞協力店は、p.10-11 mapへ



**NEW**  
4. クロスメディアによる情報発信  
商店街ホームページ、メールマガジン、ツイッター、デジタルサイネージ（電子掲示板）、フリーペーパーを活用して、商店街・地域・安全情報をきめ細やかに発信します。  
☞おぼ得な情報が満載のメールマガジン「オスアオミーリョウクラブ」の入室は、p.12へ

**モトミ・オズ通り商店街「災害時対応行動指針」**  
■ 火災等の発生を防ぐため、いち早くガス、電氣・水道の遮断を行います。  
■ お客様の安全の確保のため、お声掛けをして誘導をいたします。  
■ 従業員、家族の安全確保、安否確認を速やかにいたします。  
■ ラジコなどを通じて情報のお伝えするよう心がけます。  
■ 甚大な被害がなければ、営業時間中なるべく店を閉めておくよう努めます。  
■ 災害後も、できる限り生活に必要な物資やサービスが継続して提供できるように努力します。

# 「商店街の挑戦」2012.3.11-



2011.3.11の東日本大震災を受け、そして地域のみなさまの声を受け止めて、オズ通り商店街が「商店街」として地震災害に対し地域のみなさまに貢献できることを考え生み出すプロジェクトが始まりました。一つ一つの取り組みは小さくても、商店街という「まち」として一つになって取り組むことで、次代に向けた地域の商店街の新たな役割が生まれるものと私たちは信じています。  
これらの取り組みは、2012.3.11から順次始めてまいります。みなさまのご支援をよろしく願っています。

# 「安心安全まっぱ」

モトスミ・オズ通り商店街ではお客様が安心して安全にお買い物ができるよう、心がけています。  
この「まっぱ」では3.11から学び、新しく商店にとり入れたアイテムをご紹介します。

いつも使っているお店は  
どんなアイテムを  
とりに付けているのかな？



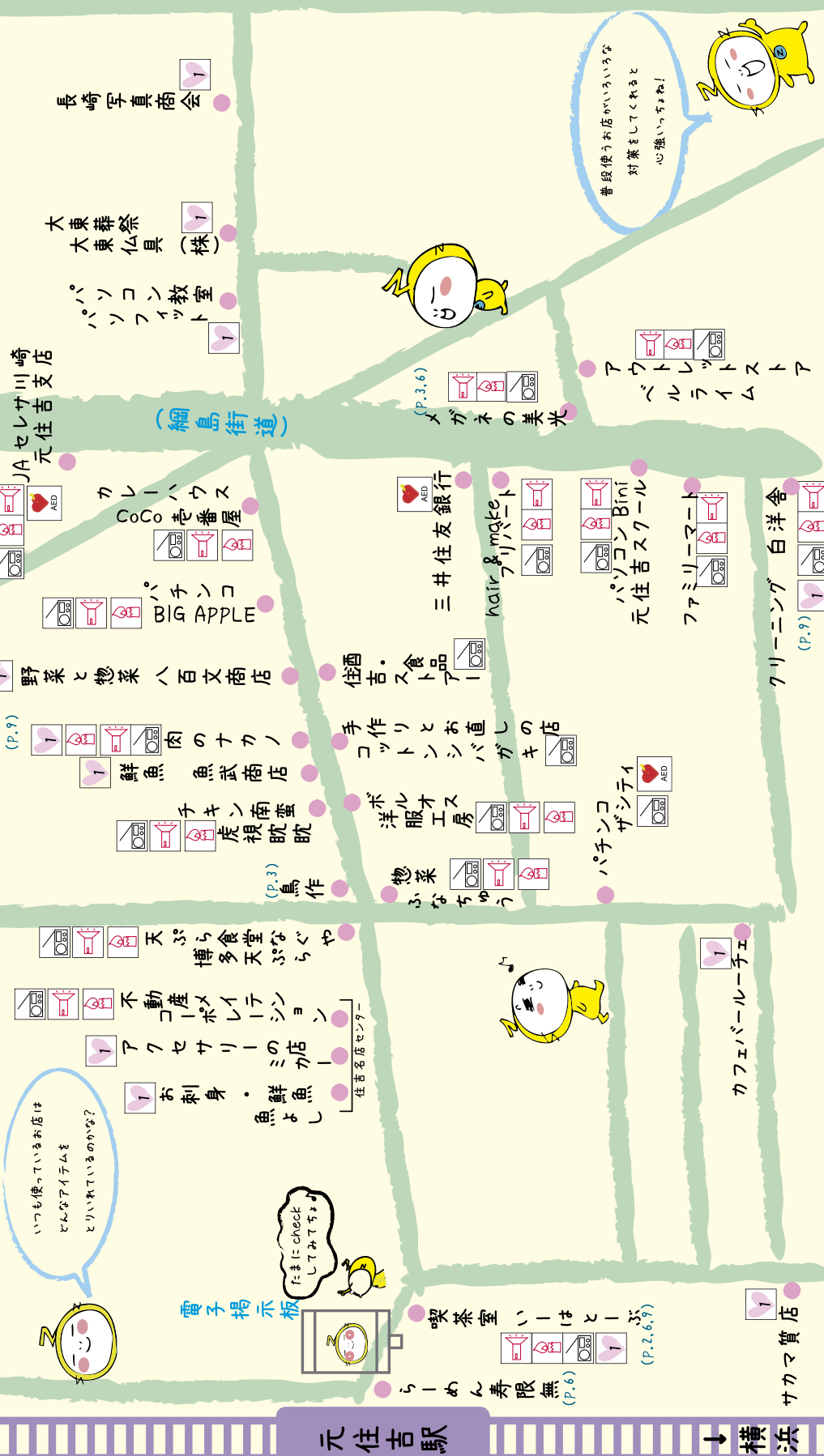
たまたまに check  
してみてください。



電子掲示板



- 中原平和公園
- 東住吉小学校
- 住吉中学校
- 関東労災病院



普段使うお店がいろいろな  
対策をしてくれればと  
心強いっちなね！



その他の説明  
● お店の場所  
(P.~) 表示のページに登場しています。


- アイコン説明
- 広域避難場所
  - 避難所
  - 緊急告示医療機関
  - 備蓄庫
  - 応急給水所
  - AED
  - AED
  - ラジオ
  - ろうそく
  - 様中電灯
  - 一店一安心運動

↑ 渋谷

元住吉駅

↓ 横浜

## 1. オズ通り商店街近辺の震災関連情報

広域避難場所 	
名称	住所
中原平和公園	木月住吉町 33-1
多摩川河川敷	宮内～上平間
心身障害者総合リハビリテーションセンター	井田 3-16-1

避難所 		
名称	住所	電話番号
住吉中学校 ※備蓄倉庫あり	木月住吉町 27-1	044-411-3358
住吉小学校	木月祇園町 17-1	044-411-5444
東住吉小学校	今井南町 1111	044-422-1402
木月小学校	木月 4-53-1	044-433-3286
井田中学校 ※備蓄倉庫あり	井田杉山町 11-1	044-766-3393
井田小学校	井田中ノ町 29-1	044-766-3992
荻宿小学校	荻宿 25-1	044-422-4409
県立住吉高等学校	木月住吉町 34-1	044-433-8555

給水拠点 	
名称	住所
中原平和公園 (中原平和公園内)	木月住吉小 33-1
木月住吉町 (東住吉小学校東側)	木月住吉町 1-1
木月 (旧木月陸橋下)	木月 4-30-45

救急病院・診療所 		
名称	住所	電話番号
関東労災病院	木月住吉町 1-1	044-411-3131
日本医科大学武蔵小杉病院	小杉町 1-396	044-733-5181
島脳神経外科医院	井田杉山町 29-10	044-777-5556
聖マリアンナ医科大学 東横病院	小杉町 3-435	044-722-2121

## 2. 災害に関する情報

- (1) 川崎市における地震被害の想定について「川崎市地震被害想定報告書 (平成 22 年 3 月)」 液状化危険度分布など  
<http://www.city.kawasaki.jp/53/53bosai/home/lib/higai/jisin2010.htm>
- (2) 災害用備蓄物資について 備蓄倉庫や備蓄物資など  
<http://www.city.kawasaki.jp/16/16kiki/home/bitiku-info/bitiku-info.htm>
- (3) 「神奈川県 e-かなマップ」 防災マップ、地震被害想定調査結果マップなど  
<http://www2.wagamachi-guide.com/pref-kanagawa/>

## 3. 家族の決めごと


災害用伝言ダイヤル『171』 各種携帯電話会社の「災害用伝言板サービス」もチェック♪

避難時の待ち合わせ場所

共通の連絡先

↑ 遠方に住む親戚等、家族の安否情報の取り次ぎに

その他の決めごと




日直おざ

みんなのおうちの  
ちかくにある避難所などを  
確認してほしいっちょ♪



モトスミ・オズ通り商店街 HP  
<http://www.oz-doori.com/>

商店会メルマガ  
 「オズファミリークラブ」 無料登録  
 444115303@hkm.kiilife.jp

 空メールを送るだけ♪  
 商店街のお得情報を  
 get !

モトスミ・オズ通り商店街  
 振興組合ツイッター  
 @ozdoori

商店街の情報を  
活用してほしいっちょ!

